## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

全国学力・学習状況調査は、小学校第6学年と中学校第3学年を対象として平成19年度から実施されています。調査が開始された当初、網走市の平均正答率は、全国平均を10ポイント以上下回る教科がありましたが、全国との差は徐々に縮まってきており、近年は一部の教科において全国平均を上回る状況も見られます。

改善の傾向にある中でも、学力・学習状況ともに改善を要する課題が見られることから、網走市の子どもたちの力をより一層発揮させられるよう、教育委員会、学校、家庭、地域が連携・協働した取組を進めてまいります。

網走市教育委員会として、児童生徒一人一人が確かな学力を身に付けるための取組を充実させるため、網走市学力向上推進委員会とともに分析を行った市内小・中学校全体の調査結果について、今後の方策とともに公表いたします。

#### 1. 調査の概要

#### 1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習 状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校 における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのよ うな取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 3. 調査の対象・児童生徒数
  - 小学校第6学年 8校 (網走小、中央小、西小、潮見小、東小、白鳥台小、西が丘小、呼人小) 実施人数 167名
    - ※調査当日、新型コロナウイルス感染症拡大により学校閉鎖のため後日の実施となった 結果は、今回の調査結果に含んでいない。
  - 中学校第3学年 6 校 (第一中、第二中、第三中、第四中、第五中、呼人中) 実施人数 国語193名 / 数学・理科194名 ※国語は1名が体調不良により未実施

#### 4. 調査の内容

- ① 教科に関する調査(小学校:国語、算数、理科 / 中学校:国語、数学、理科)
  - ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において 不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
  - ※上記を一体的に問う。
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・児童生徒に対する調査
  - ・ 学校に対する調査

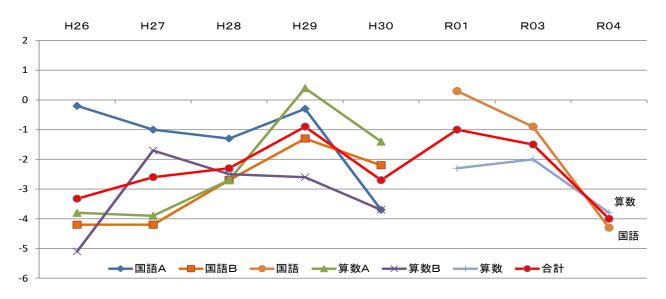
#### 2. 結果の概要

#### (1) 平均正答率 • 平均正答数

国語			小学校			中学校	
教	科	国語	算数	理科	国語	数学	理科
問題	<b>夏数</b>	14 問	16 問	17 問	14 問	14 問	21 問
平均	網走市	61. 3	59. 4	59. 9	68. 2	44. 9	49. 1
正答率	北海道	64. 4	61. 1	62. 9	68. 6	48. 9	49. 0
(ポイント)	全 国	65. 6	63. 2	63. 3	69. 0	51. 4	49. 3
北海道	との差	<b>-</b> 3. 1	<b>-</b> 1. 7	<b>-</b> 3. 0	<b>-</b> 0. 4	<b>-4</b> . 0	+0.1
全国と	の差	<b>-4</b> . 3	-3.8	<b>-3.4</b>	-0.8	<b>-6.5</b>	<b>-</b> 0. 2
平均	網走市	8. 6	9. 5	10. 2	9. 5	6. 3	10. 3
正答数	北海道	9. 0	9.8	10. 7	9. 6	6. 9	10. 3
(問)	全 国	9. 2	10. 1	10.8	9. 7	7. 2	10. 4
北海道と	の差 (間)	<b>-</b> 0. 4	<b>-</b> 0. 3	<b>-</b> 0. 5	<b>-</b> 0. 1	<b>-</b> 0.6	±0
全国との	)差 (間)	<b>-0.</b> 6	<b>-0</b> . 6	<b>-</b> 0. 6	<b>-</b> 0. 2	<b>-</b> 0. 9	<b>-</b> 0. 1

※平均正答率~各教科それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率。

#### (2) 網走市《小学校》の平均正答率の推移



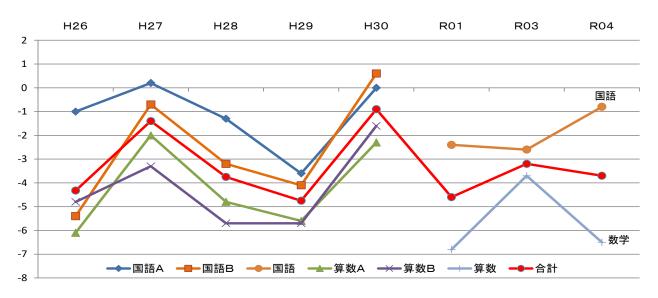
小学校	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 3	R 4
国語A	99. 7	98. 6	98. 2	99. 6	94. 8	100. 5	98. 6	93. 4
国語B	92. 4	93. 6	95. 3	97. 7	96. 0	100. 5	90. 0	93. 4
算数A	95. 1	94. 8	96. 5	100. 5	97. 8	06 5	97. 2	94. 0
算数B	91. 3	96. 2	94. 7	94. 3	92. 8	96. 5	91. Z	94. 0

※調査問題は毎年異なり、平均正答率を年度間で比較できないため、全国平均を100とした時の網走市の正答率で比較。

<sup>※</sup>国語と算数は、平成31年度(令和元年度)から「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施。

<sup>※</sup>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国調査は実施されていない。

#### (3)網走市《中学校》の平均正答率の推移

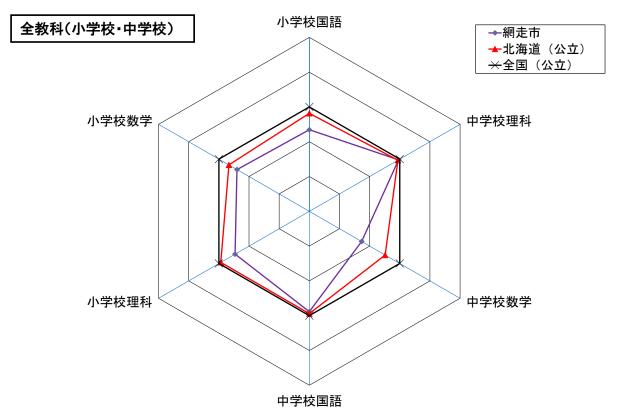


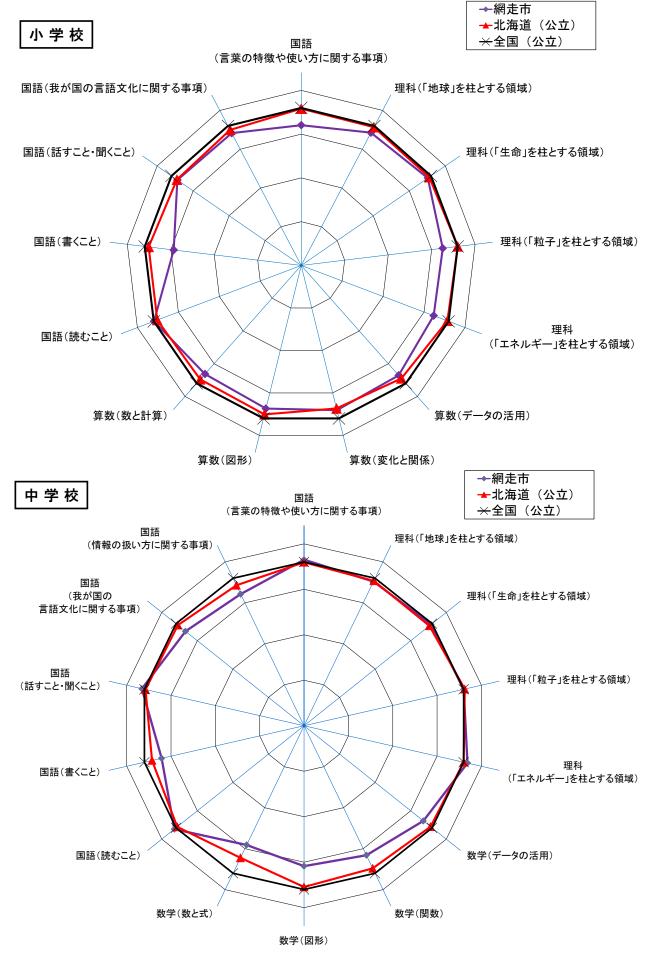
中学校	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 3	R 4
国語A	98. 7	100. 3	98. 3	95. 3	100.0	06.7	96. 0	98. 8
国語B	89. 4	98. 9	95. 2	94. 3	101.0	96. 7	90.0	90.0
数学A	90. 9	96. 9	92. 3	91.3	96. 5	88. 6	93. 5	87. 4
数学B	92. 0	92. 1	87. 1	88. 1	96. 6	00.0	93. 5	07.4

- ※調査問題は毎年異なり、平均正答率を年度間で比較できないため、全国平均を100とした時の網走市の正答率で比較。
- ※国語と算数は、平成31年度(令和元年度)から「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施。
- ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国調査は実施されていない。

#### (4)各教科領域別の状況 (レーダーチャート)

## ≪ 各教科領域別の状況 ≫



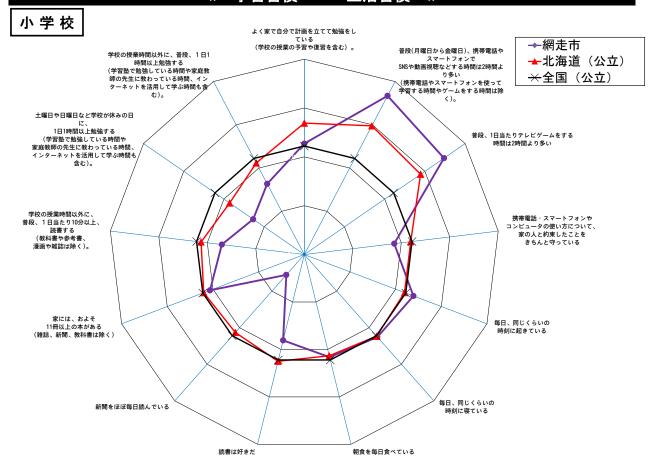


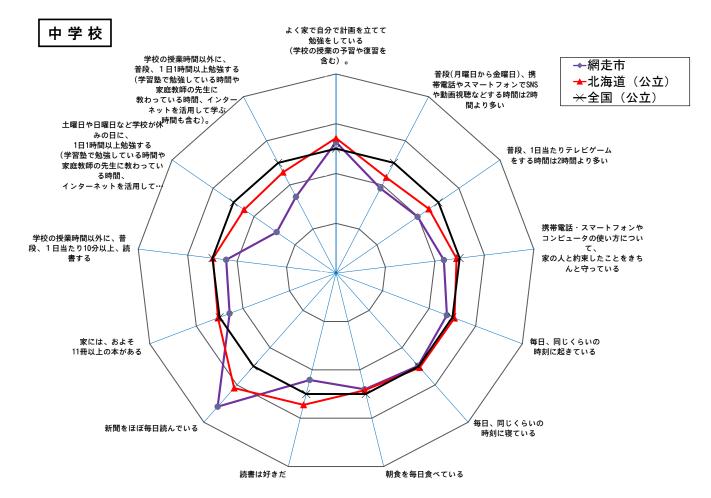
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

令和4年度 全国学力・学習状況調査 網走市調査結果概要 【 4 】

#### (5) 児童生徒質問紙調査の状況 (レーダーチャート)

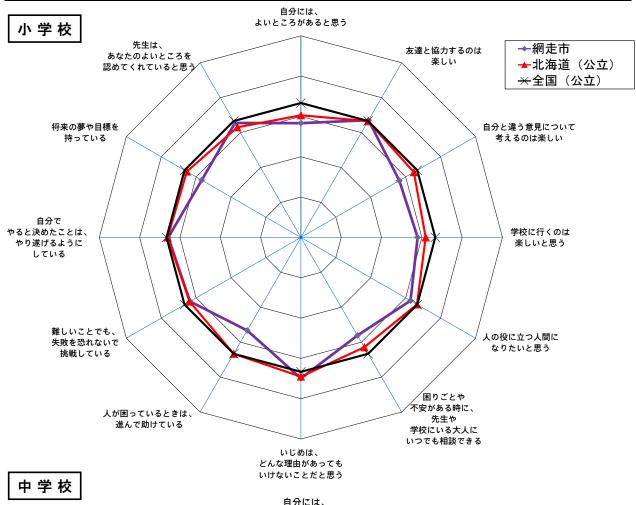
#### 《 学習習慣 ・ 生活習慣 ≫

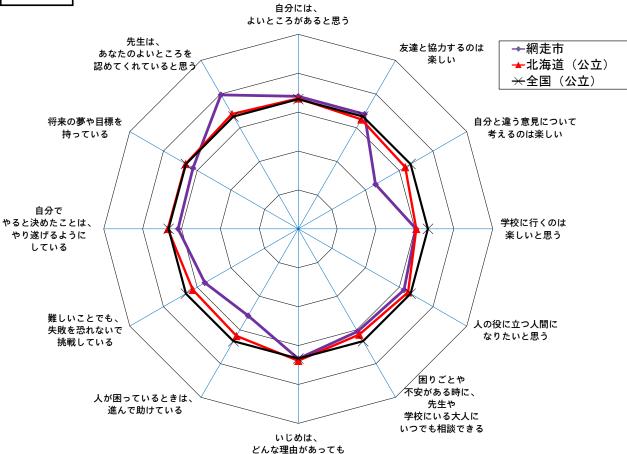




令和 4 年度 全国学力·学習状況調査 網走市調査結果概要 【 5 】

#### <u>《 自尊</u>意識 · 規範意識 ≫





いけないことだと思う 令和4年度 全国学力・学習状況調査 網走市調査結果概要 【 6 】

### 3. 教科に関する調査

### 〇小学校 国語

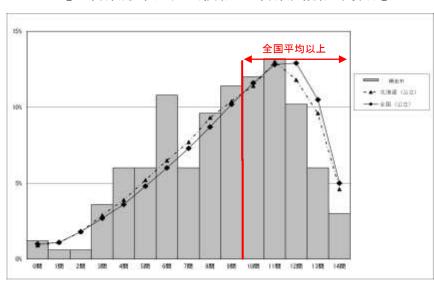
	分類		区分		女	象問	<b>引題</b>	数								平均正智	答率(%)			
	万規		<u>ω</u> π			(	引)				網	走市	ī			北海道	(公立)	4	全国(公	·立)
		全体						14						l. 3	3		64.	_		65.6
			徴や使い方に関する事項					5				(	62 <b>.</b>	2	-		68.7	7	(	69.0
AM 777 AM.	知識及び技能		い方に関する事項					0							75. 63. 47. 65. 69. 60. 70. 63. 48. xt 正等单( 五十二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二					
学習指導要領の			言語文化に関する事項					1	_				<u>74.</u>				75. 9			77.9
内容	思考力、判断力、		・聞くこと					2	_				<u>63.</u>		_		63.7	7		66. 2
	表現力等	B 書くこと						2					<u>40.</u>				47.	***************************************		48.5
		C 読むこと						4	_			_	<u>66.</u>		-		65. 2			66.6
	=T /T = 40 h	知識・技能						6					<u>64.</u>				69. 9			70.5
	評価の観点	思考・判断・						8	-			į	<u>59.</u>	2	-		60. 4	£	(	62.0
			に取り組む態度					0	-				20	_	+		70.			71 0
	BB B基 T/✓ <del>- 1</del> -	選択式						8					<u>69.</u>							71.8
	問題形式	短答式						3	-			_	<u>53.</u>	_	-		63. 5	******************		63.6
		記述式	T	<u> </u>				3				- 1	46.	Э			48.8	5		51.3
					学習	指導事	領の			\$20 A	面の観	占	P.A	題形:	त्ती		正答率(%	)	無假忽	下率(%)
				知訓	戦及び打	支能	思考力.	力. ¥	判断 力等		m 00 m/c		100	ALS 112.			II II - (70.		AN 724 LA	1 + (70)
				(1)	(2)	(3)	Α	В	С	知識	思考	主体	選択	短答	58	網	숙	全	網	全
				言葉	情報	我が	話	書	読	技	* 判	的に	式	式	式		_	国	走	国
				の	の	玉	すこ・	書くこと	やこける	能	断	学				. –			市	
問題番号	問題の棚	<del>m</del>	出題の趣旨	特徴	扱い	の言	٤	ح	٤		表	習に				т		٤	ιŋ	<u> </u>
问超留写	問題の概	安	田超の趣日	や使	方に	語文	聞くこ				現	取り						の		公
				か方	関す	化に	ے					組む					立	差		立
				に関	る事	関す						態度								
				す	項	る事														
				る事項		項														
			正答率が高かった	問見	題	( ]	上位	ኔ 3	3 밑	引)							1		1	
1 -	【話し合いの様子の一部】におり 発言の理由として適切なものを過	ける谷原さんの Bおする	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	5·6						0			0			83. 8	85. 5	-1. 7	1. 2	0.9
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,																			
1 ≡	【話し合いの様子の一部】で、『 前田さんに質問し、知りたかった		必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや				3 · 4						0			81.4	84. 7	-3. 3	1. 2	1.0
	説明として適切なものを選択する	5	自分が聞きたいことの中心を捉える				4						Ŭ			01.1	011.	0.0	1.5	1.0
3 🖾	(一) から(二)に書き直した関		漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く			3 · 4				0			0			74. 3	77. 9	2.6	7.0	5.9
3 23	内容として適切なものを選択する	5	戻子で試行の人とで、配列に注意して書く			(Y)							O			14. 3	11.9	-3. 6	7.8	5.9
			正答率が低かった	問見	題	(	下亿	ኔ 3	3 팀	引)										
1四	「ごみ拾い」か「 <del>花植え</del> 」かのと 選んで	ごちらかを 舌すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に 話し合い、自分の考えをまとめる				5・6 オ				0				0	45. 5	47. 7	-0.8	3. 0	3. 0
3 ≡ イ	【文章2】の中の —— 部イを. 書き直す ( <u>はんせい</u> )	漢字を使って	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の 中で正しく使う	5·6 ±						0				0		44. 3	58. 7	-14. 4	16. 2	10. 2
1四	【伝え合いの様子の一部】を基に よさを書く	こ. 【文章 2】の	文章に対する感想や意見を伝え合い. 自分の 文章のよいところを見付ける					5 · 6 力			0				0	26. 9	37. 7	-10.8	26. 3	14. 5

#### 【小学校国語の概要】

- ○正答率の全国平均との差は、 -4.3ポイント
- 〇正答率が全国平均を上回った 問題は14問中2問。
- 〇学習指導要領の領域別(5領域から出題)では、領域で全国を上回った領域はない。
- 〇問題形式別では、「選択式」 「短答式」、「記述式」とも全国 を上回った領域はない。
- 〇平均正答数が10問(全国平均)以上の割合

全国 ~ 52.8%網走 ~ 44.4%

#### 【正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)】



#### 〇小学校 算数

	A) NOT				1000	き問題	頁数								平均正律	<b>答率(%)</b>			
	分類		区分			(問)				斜	<b>剛走市</b>	ī			北海道	(公立)	全	国(公)	立)
		全体					16	3			Ę	59.	4			61.	1	6	53. 2
		A 数と計算					6	3				64.				67.7		6	9.8
		B 図形					4	1				60.	3			62.5	5	6	64.0
学	習指導要領の領域	C 測定					(	)											
		C 変化と関係	•				4	1				48.	8			48.3	3	5	1.3
		D データの沿	用				:	_				64.				66. 1			8.7
		知識・技能					Ć	_				64.				66. 3	_		8.2
	評価の観点	思考・判断・表					7	-				<u>53.</u>	0	-		54. 3	3	5	6.7
		主体的に学習に	取り組む態度				(												
		選択式					(	_				<u>49.</u>	_	-		50.6			1.8
	問題形式	短答式					(					<u>71.</u>		-		74. 2			6.5
	-	記述式					4	1				55.	5			57. 0	)	6	50.2
				学	習指	導要領	の領	域	評値	面の観	点	問是	巨形式	t		正答率(%)		無解答	率(%)
				Α	В	С	С	D	知識	思考		選択	短	超 網 全 生		全	網	全	
				数と	図形	測定	变化	デー	技	判	的に	式	答式	<b>+</b>		国	走	国	
				計算	1	/E	と関	タの	能	断	学習				市			市	
				7			係	活用		表現	取				Ш	<u> </u>	کے	ιΠ	<u></u>
								/"		-50	組					公	の		公
問題番号	問題の概	要	出題の趣旨								む態					立	差		立
											度								
			<u> </u>			1													
			正答率が高かった問	問題	Į (	(上	位	3	問	)									
1 (1)	1050×4を計算する		被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすること ができる	3 (1) 7 (9) 3 (3) 7 (4) 4 (7) 7 (7)					0						94. 0	92. 4	1.8	0.0	0.3
				4 (7) 7 (7)							_								
4 (2)	長方形のプログラムについて、	向かい合う辺の長	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味		2 (1) 7 (1)				0				ol		77. 2	83. 2	-6. 0	10.2	4.7
- (2)	さを書く		や性質、構成の仕方について理解している		7(4)										11.2	00.2	0. 0	10.2	4. /
	カップケーキ 7個分の値段を.	1470÷3で求	示された場面を解釈し、除法で求めることができ	3(4)							$\exists$	T	T		74.0	50.6		0.6	
1 (3)	めることができるわけを書く	·	る理由を記述できる	イ(ア) 4(3) ア(イ)						0				0	74. 9	76.0	-1. 1	6.0	5. 2
	1						,	_											
	,		正答率が低かった問	<del></del>	<u>i</u> (	、下	垃	3	問	)								•	
2 (4)	果汁が30%含まれている飲み m L 入っているときの、飲み物		伴って変わる二つの数量が比例の関係にあること を用いて、未知の数量の求め方と答えを記述でき				5 (1) イ(ア)			0				0	40. 7	48. 0	-7. 3	8. 4	5. 5
	えを書く		8				107)							_		10.0	0	0. 1	0.0
	85×21の答えが1470よ	り必ず大きくなる	示された場面において、目的に合った数の処理の	4 (2)								$\neg$	T		20.0	24.6	1.0	1.0	0.0
1 (4)	ことを判断するための数の処理		仕方を考察できる	4 (2) イ (ア)						0		0			32. 9	34.8	-1. 9	1.2	0.9
	#11 // A.T. L. T. W. C. W. C. T.	+ Nr / V = 1 + 1 *		+							1	$\dashv$	$\dashv$						
2 (3)	果汁が含まれている飲み物の量 の、果汁の割合について正しい		示された場面のように、数量が変わっても割合は 変わらないことを理解している				5 (3) 7 (7)		0			0			28. 7	21.4	7. 3	1.2	1.1

#### 【正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)】

#### 【小学校算数の概要】

- ○正答率の全国平均との差は、 -3.8ポイント。
- 〇正答率が全国平均を上回った 問題は16問中2問
- ○学習指導要領の領域別(4領 域から出題)では、全国を上回 った領域はない。
- 〇問題形式別では、「選択式」 「記述式」「短答式」とも全国を 上回った領域はない。
- 〇平均正答数が11問(全国平均)以上の割合

全国 ~ 51.9%

網走 ~ 43.2%

# 

#### 〇小学校 理科

分類		区分	対象問題数		平均正答率(%)	
万規		<b>△</b> ガ	(問)	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)
			17	59. 9	62. 9	63. 3
	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	46. 9	51. 2	51.6
学習指導要領の	АБЛ	「粒子」を柱とする領域	5	55. 2	60. 4	60.4
区分・領域	B区分	「生命」を柱とする領域	5	73. 4	74. 1	75. 0
	БЕЛ	「地球」を柱とする領域	5	61.8	64. 1	64. 6
		知識・技能	6	58.8	63. 2	62. 5
評価の観点		思考・判断・表現	11	60. 5	62.7	63. 7
		主体的に学習に取り組む態度	0			
		選択式	11	65. 3	66. 3	66.8
問題形式		短答式	3	58. 1	67. 7	66. 2
		記述式	3	41.9	45, 3	47. 3

					要領(領域	מ	評価	面の観	点	問題	題形式	ŧ		正答率(%)		無解答	率(%)
			ΑŒ	≅分	В⊠	分											
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	網走市	全国(公立)	全国との差	網走市	全国 (公立)
		正答率が高かった問	見題	į(_	L亿	ž3	問	)									
1 (1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のもの であるかを選ぶ	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、 問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考え をもつことができる			3 B (1) 7 (7) (4) #			0		0			94. 6	92. 9	1. 7	0.0	0. 2
4 (1)	冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまと めを選ぶ	観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈 し、自分の考えをもつことができる				4B (4)ア (ア)※		0		0			79. 6	82. 3	-2. 7	1.8	1. 0
1 (4)	資料を基に、カブトムシは育ち方と主な食べ物の 特徴から二次元の表のどこに当てはまるのかを選 ぶ	提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈 し、自分の考えをもつことができる			3 B (1)ア (7) (イ)米			0		0			76. 6	76. 1	0. 5	1.8	0. 7
		正答率が低かった問	題	(-	下位	ቷ 3	3 門	引)									
2 (4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基 に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付き の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、 その内容を記述できる		4点 (2)ア (ウ) 5点 (1)ア (ウ)※				0				0	35. 9	39. 3	-3. 4	13.8	8. 7
3 (4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果 を基にして書く	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈 し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	3 A (3)ア (ア) (イ)※					0				0	27. 5	35. 1	-7. 6	19. 2	11. 2
3 (1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	日光は直進することを理解している	3 A (3) 7 (7)				0			0			25. 1	27.8	-2. 7	1. 2	0.6

#### 【正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)】

#### 【小学校理科の概要】

- ○正答率の全国平均との差は、 -3.4ポイント。
- 〇正答率が全国平均を上回った 問題は17問中5問
- ○学習指導要領の領域別(4領域 から出題)では、全国を上回っ た領域はない。
- 〇問題形式別では、「選択式」「記述式」「短答式」とも全国を上回った領域はない。
- ○平均正答数が11問(全国平均)以上の割合

全国 ~ 58.5% 網走 ~ 51.6%

全国平均以上

-- 10%

-- 12素 (込立)
-- 9(図 (公立)

-- 12素 (込立)
-- 9(図 (公立)

-- 12素 (込立)
-- 12素 (込立)

#### 〇中学校 国語

	分類	区分	対象問題数		平均正答率(%)	
	万規	区 77	(問)	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)
		全体	14	68. 2	68.6	69. 0
		(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	6	73. 1	72. 1	72. 2
	知識及び技能	(2) 情報の扱い方に関する事項	1	42.0	44. 5	46. 5
学習指導 要領の		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	65. 5	69. 3	70. 2
内容	TT also I also blee I	A 話すこと・聞くこと	3	64.8	63. 5	63. 9
	思考力,判断力, 表現力等	B 書くこと	1	42.0	44. 5	46. 5
	2,5070	C 読むこと	2	68.7	67. 3	67. 9
		知識・技能	10	67.7	68. 5	69.0
評	呼価の観点	思考・判断・表現	6	62.3	61.6	62. 3
		主体的に学習に取り組む態度	0			
		選択式	6	73. 1	73. 3	73. 7
	問題形式	短答式	5	69. 5	68. 6 72. 1 44. 5 69. 3 63. 5 44. 5 67. 3 68. 5 61. 6	70.3
		記述式	3	56. 1	55. 7	57.4

				学習	指導要	要領の	内容													
			知請	ま及び!	技能		考力. 表現		評(	西の観	点	問	題形:	式		I	E答率(%	)	無解答	率(%)
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	③ 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	- 1 :	網走市	全国(公立)	全国との差	網走市	全国 (公立)
		正答率が高かった問	引起	<u>E</u>	(上	_ 位	չ 3	問	)						•					
4 =	最初に書いた文字の漢字のバランスについて説 明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書の読みやすい書き方について理 解する			2ウ(7)				0			0			90	0.2	90. 1	0. 1	1.6	1.0
з =	「逾方に暮れた」の意味として適切なものを選択する	事象や行為. 心情を表す語句について理解 する	1 ウ						0			0			88	3.6	84. 0	4. 6	0.0	0.3
2 —	意見文の下書きの一部について、文末の表現を 直す意図として適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解し、目的に応じ て使う	2 才						0			0			83	3. 9	82. 3	1.6	0.0	0.2
		正答率が低かった問	引起	頁	(下	七	<u>ե</u> 3	問	)											
1 Ξ	スピーチのどの部分をどのように工夫して話す のかと、そのように話す意図を書く	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す	1 7			1 ウ			0	0				0	5	1. 4	51.8	2. 6	15. 5	16. 2
2 ≡	展林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート展業の効果を書き加える	自分の考えが伝わる文章になるように、 根 拠を明確にして書く		1 1			1 ウ		0	0				0	42	2. 0	46. 5	-4.5	5. 2	9. 0
4 —	行書の特徴を踏まえた書き方について説明した ものとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する			1 I (1)				0			0			30	0.1	39. 4	-9. 3	1. 0	0.9

#### 【正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)】

#### 【中学校国語の概要】

- ○正答率の全国平均との差は、 -0.8ポイント。
- 〇正答率が全国平均を上回った 問題は14問中7問。
- ○学習指導要領の領域別(6領域から出題)では、3領域で全国を上回っている。
- ○問題形式別では、「短答式」で 全国を上回り、「選択式」「記述 式」で全国を上回ったものはな い。
- 〇平均正答数が10問(全国平均)以上の割合

全国 ~ 59.6%

網走 ~ 59.6%

# 

#### 〇中学校 数学

分類	区分	対象問題数		平均正答率(%)	
万規	区方	(問)	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)
	全体	14	44. 9	48.9	51.4
	A 数と式	5	47. 5	52. 0	57. 4
学習指導要領の領域	B 図形	3	38. 0	43.0	43.6
子自由等安限の限域	C 関数	3	38.8	42. 3	43.6
	D データの活用	3	53. 6	北海道 (公立) 48.9 52.0 43.0	57. 1
	知識・技能	9	54. 6	57. 3	59. 9
評価の観点	思考・判断・表現	5	27. 5	34. 0	36. 2
	主体的に学習に取り組む態度	0			
	選択式	4	50. 9	52. 3	52. 6
問題形式	短答式	5	57. 5	61. 2	65. 7
	記述式	5	27. 5	34.0	36. 2

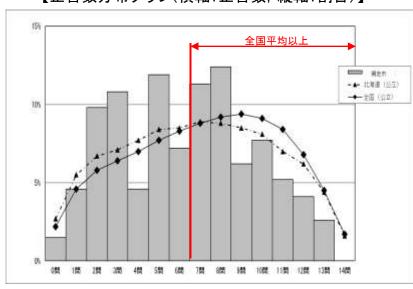
			学習	指導要	<b></b> 傾 0	)領域	評	価の観	見点	問	題形:	式	ī	E答率(%	)	無解答	率(%)
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	A 数と式	B 図形	C関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	網走市	全国(公立)	全国との差	網走市	全国(公立)
		正答率が高かった問題	Į.	(上	. 位	ī 3	問	)									
5	容器のふたを投げたときに下向きになる確率を 選ぶ	多数の観察や多数回の試行によって得られる 確率の意味を理解している				1 (2) 7 (7)	0			0			82. 0	83. 3	-1. 3	0.0	0.3
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことが できる	2(2) ア (ウ)				0				0		72. 7	74. 5	-1. 8	4. 6	6. 1
6 (1)	同じ偶数の和である 2 n + 2 n = 4 n について、 n が 9 のときどのような計算を表しているかを 書く	問題場面における考察の対象を明確に捉える ことができる	2(1) ア (イ)				0				0		66. 5	73. 8	± 0	9. 3	6. 0
9 (1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の 合同条件を理解している		2(2) ア (ア)			0				0		66. 5	73. 2	-6. 7	9. 3	7. 5
		正答率が低かった問題	<u> </u>	(下	位	3	問	)									
1	42を素因数分解する	自然数を素数の積で表すことができる	1 (1) ア. イ				0				0		30. 4	52. 2	-21.8	14. 4	11.5
6 (3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について. 予想した事柄を表現する	結論が成り立つための前提を考え、新たな 事柄を見いだし、説明することができる	2(1) イ (イ)					0				0	29. 4	37. 6	-8. 2	28. 4	26. 2
9 (2)	∠ABEと∠CBFの和が30°になる理由を 示し、∠EBFの大きさがいつでも60°に なることの説明を完成する	筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を 説明することができる		2(2) イ (イ)				0				0	5. 7	12. 5	-6. 8	39. 7	38. 5

#### 【中学校数学の概要】

- 〇正答率の全国平均との差は、 -6.5ポイント。
- 〇正答率が全国平均を上回った 問題は14問中1問
- ○学習指導要領の領域別(4領域 から出題)では、全国を上回っ た領域はない。
- ○問題形式別では、「短答式」「選 択式」「短答式」「記述式」で全 国を上回ったものはない。
- 〇平均正答数が7問(全国平均) 以上の割合

全国 ~ 57.9% 網走 ~ 49.5%

## 【正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)】



#### 〇中学校 理科

	区分	対象問題数 (問) 21 6 5 5 6 7 14 0		平均正答率(%)	
万規	<u>Σ</u> π	(問)	網走市	北海道 (公立)	全国 (公立)
	全体	21	49. 1	49.0	49. 3
	「エネルギー」を柱とする領域	6	42.8	41.9	41. 9
学習指導要領の領域	「粒子」を柱とする領域	5	50.9	51. 2	50. 9
十日旧等女限の限場	「生命」を柱とする領域	5	57. 5	56.8	57. 9
	「地球」を柱とする領域	6	43.4	43.6	44. 3
	知識・技能	7	45. 4	46. 2	46. 1
評価の観点	思考・判断・表現	14	51.0	50.4	51. 0
	主体的に学習に取り組む態度	0			
	選択式	15	49. 5	49. 5	49. 6
問題形式	短答式	1	27.8	24. 6	24. 8
	記述式	5	52. 4	52.4	53. 5

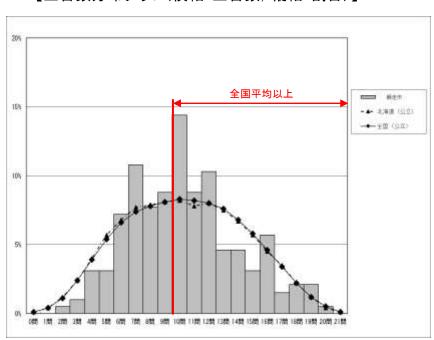
			学習指導要領の領域			領域	評価の観点			問題形式			i	正答率(%)			無解答率(%)	
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	答	記述式	網走市	全国(公立)	全国との差	網走市	全国 (公立)	
正答率が高かった問題(上位3問)																		
1 (2)	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるため に、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作 の組合せを選択する	モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を 制御した実験を計画できるかどうかをみる	(3) (7)					0		0			85. 6	78. 5	7. 1	0.0	0.1	
3 (1)	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式 で表す	化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分 子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができる かどうかをみる		(4) (1)			0			0			82. 0	80. 1	1. 9	0.0	0.1	
4 (1)	ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や移動の仕方と関連付け、その理由 を説明する	節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や 移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈 できるかどうかをみる			(1) (イ)			0				0	72. 2	74. 5	-2. 3	4. 6	5. 5	
正答率が低かった問題(下位3問)																		
3 (3)	水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおも とを指摘する	化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする 領域の知識及び技能を関連付け、水素生燃料として使うしく みの例の全体を働かせるおおもととして必要なものを分析し て解釈できるかどうかをみる	(3) (7)	(4) (1)				0			0		27. 8	24. 8	3. 0	3. 6	4. 3	
2 (3)	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察 の妥当性について判断する	飛行機需の残り方を科学的に探究する学習場面において、地 上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、 多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる				(4) (1)		0		0			26. 8	28. 5	-1. 7	0. 5	0.3	
5 (1)	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力に ついて説明する	カの働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力 とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかを みる	(1) (イ)				0			0			7. 2	15. 3	-8. 1	0. 5	0.2	

#### 【正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)】

#### 【中学校理科の概要】

- ○正答率の全国平均との差は、 -0.2ポイント。
- 〇正答率が全国平均を上回った 問題は21問中9問。
- ○学習指導要領の領域別(4領域から出題)では、1領域で全国を上回り、1領域で同率であった。
- 〇問題形式別では、「短答式」で 全国を上回り、「選択式」「「記 述式」が全国を下回っている。
- ○平均正答数が10問(全国平均)以上の割合

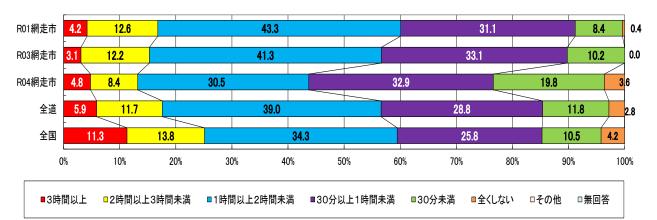
全国 ~ 56.7% 網走 ~ 57.7%



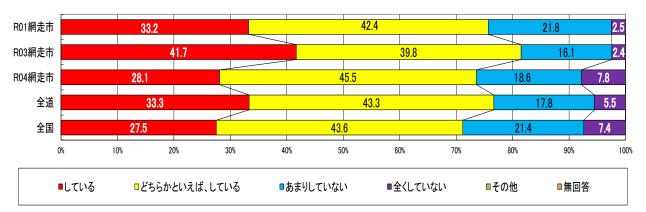
#### 4. 児童生徒質問紙調査

#### (1) 小学校における学習習慣・読書習慣の概要

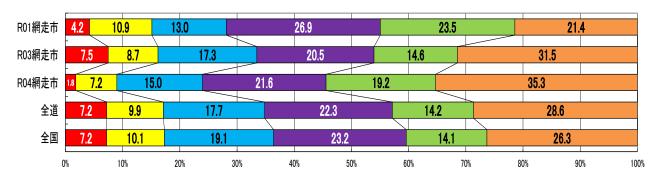
#### 〇「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」



#### 〇「家では、自分で計画を立てて、勉強をしていますか」



#### 〇「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」

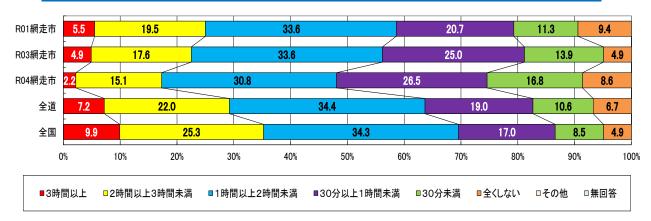


■2時間以上 ■1時間以上2時間未満 ■30分以上1時間未満 ■10分以上30分未満 ■10分未満 ■全くしない ■その他 ■無回答

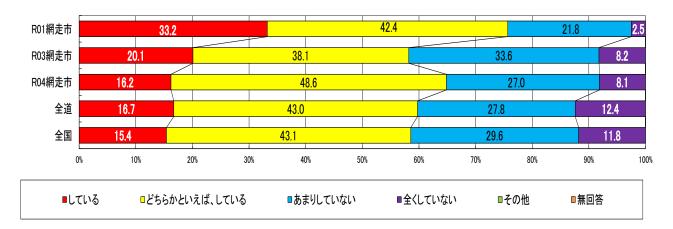
- ○「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強している」は、全国より低い傾向にあるが、「全くしない」児童が全国よりも低い割合を示している。
- ○「家では、自分で計画を立てて勉強をよくしている」は全国より高い割合を示している。
- ○「学校の授業時間以外で読書をする時間」は、「30分以上読書をする」割合が全国より 低い傾向を示している。

#### (2) 中学校における学習習慣・読書習慣の概要

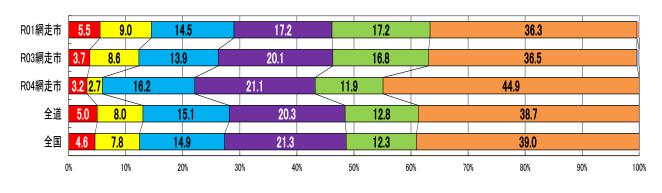
#### 〇「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」



#### ○「家では、自分で計画を立てて、勉強をしていますか」



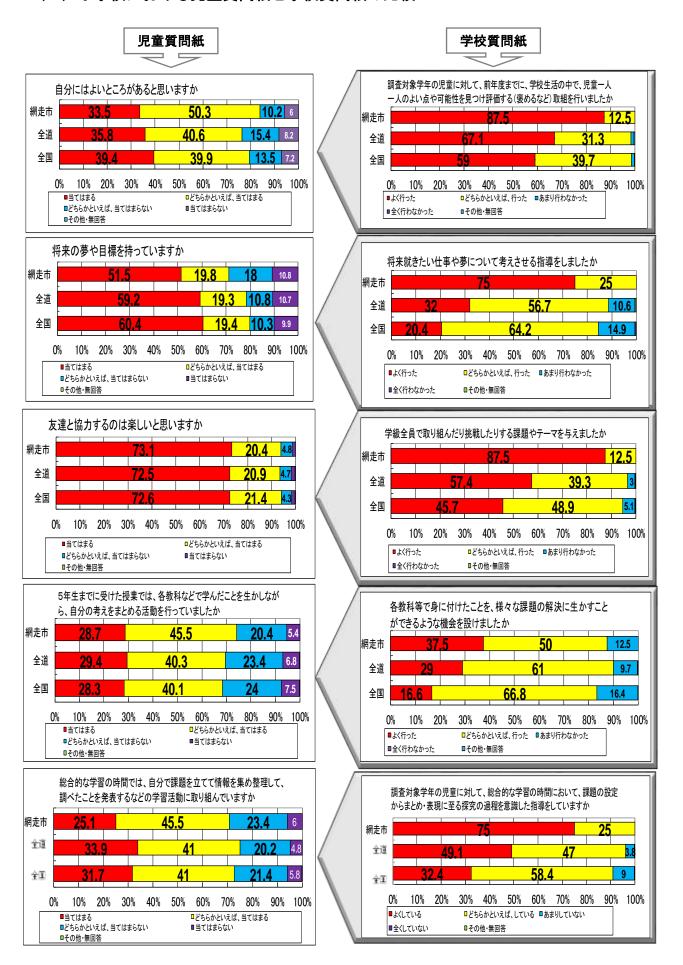
#### 〇「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」



■2時間以上 ■1時間以上2時間未満 ■30分以上1時間未満 ■10分以上30分未満 ■10分未満 ■全くしない ■その他 ■無回答

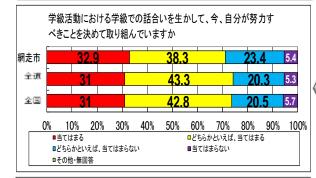
- ○「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強している」は、全国よりも 低い傾向を示している。
- 〇「家では、自分で計画を立てて勉強している」では、「よくしている」「どちらかといえばよくしている」が全国より、高い傾向を示している。
- ○「学校の授業時間以外で読書をする時間」は、「30分以上読書をする」割合が全国より 低い傾向を示している。

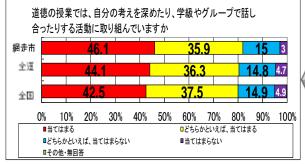
#### (3) 小学校における児童質問紙と学校質問紙の比較

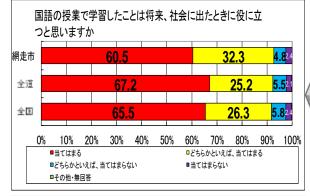


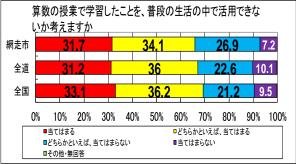
## 児童質問紙

#### あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互 いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか 網走市 全道 41.6 全国 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない ■その他・無回答

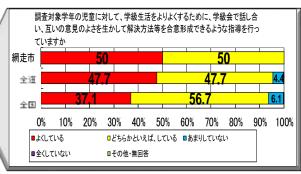


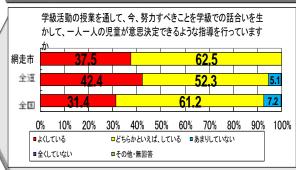


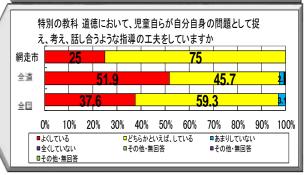


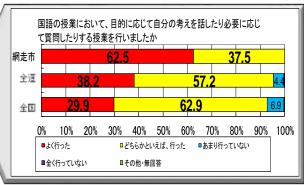


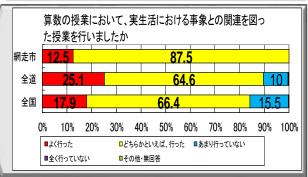
#### 学校質問紙



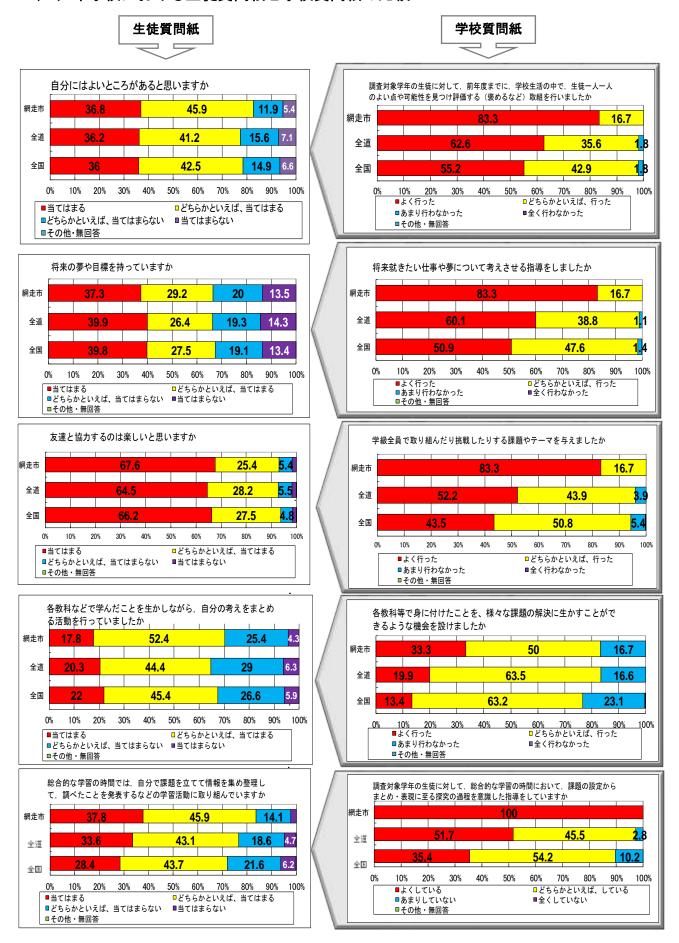






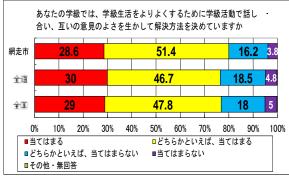


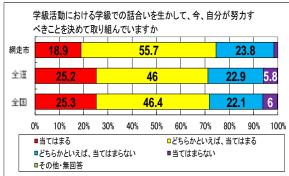
#### (4) 中学校における生徒質問紙と学校質問紙の比較

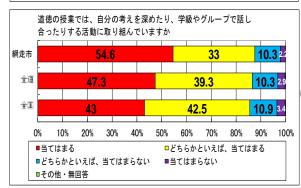


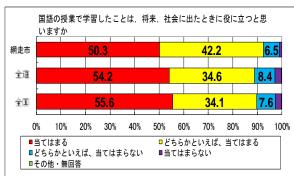
## 生徒質問紙

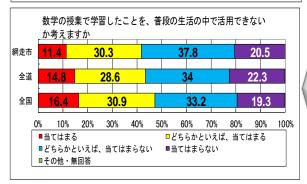
#### 学校質問紙 \_ \_

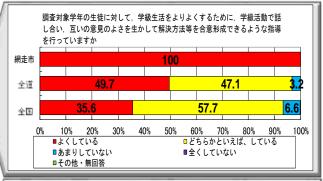


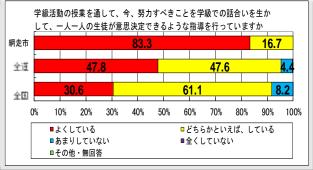


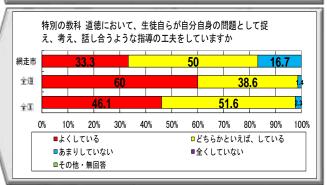


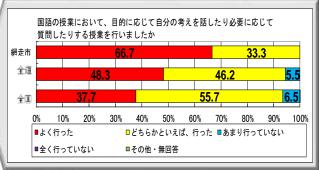


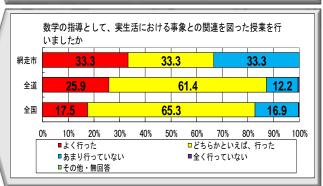








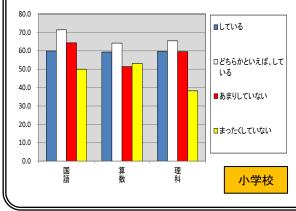


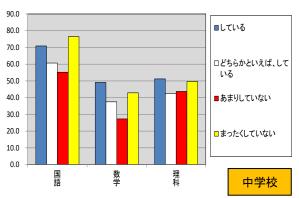


#### 5. 質問紙調査と平均正答率の相関

#### (1)「朝食を毎日食べている」と正答率の相関

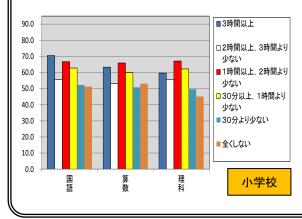
「している」「どちらかといえば、している」と回答した児童生徒の方が「あまりしていない」「まったくしていない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。

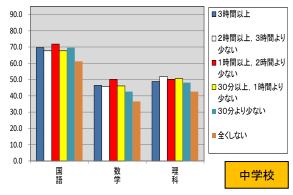




(2)「学校の授業時間以外に、普段(月~金曜日)1日当たりどれぐらいの時間、勉強を しているか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」と 正答率の相関

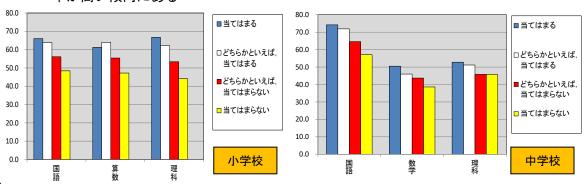
「学校の授業時間以外に1時間以上勉強をする」児童生徒の方が、「学校の授業時間 以外の勉強が1時間未満」の児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある。



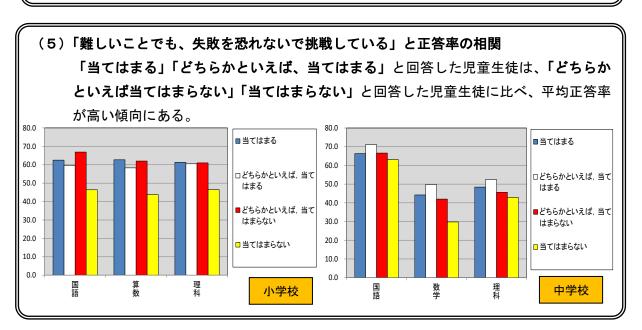


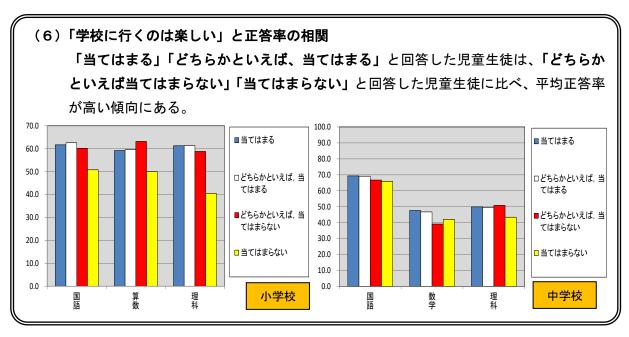
#### (3)「読書は好きか」と正答率の相関

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「どちらかといえばあてはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、平均正答率が高い傾向にある



#### (4)「自分には、よいところがある」と正答率の相関 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、「どちらか といえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒に比べ、平均正 答率が高い傾向にある。 80.0 80.0 ■当てはまる ■当てはまる 70.0 70.0 60.0 60.0 □どちらかといえば, □どちらかといえば. 50.0 当てはまる 50.0 当てはまる 40.0 40.0 ■どちらかといえば ■どちらかといえば、 30.0 当てはまらない 30.0 当てはまらない 20.0 20.0 □当てはまらない □当てはまらない 10.0 0.0 0.0 国語 数学 国語 算数 理科 中学校 小学校





#### 6. 調査結果における課題と改善のポイント

#### (1) 学校での組織的な取組 [▲改善を要する点 ◆改善のポイント]

#### 【学習状況調査の結果から】

- ▲小学校は3教科において、正答数 の少ない児童の割合が、全道・全 国より高い。
- ▲中学校は国語と数学において全正 答数の少ない生徒の割合が道・全 国より高い。
- ▲小学校は3教科において無解答率 が全道・全国より高い。
- ▲中学校は国語と数学において無回 答率が全国よりも高い。
- ▲小・中学校ともに経年比較で見る と、国語、算数・数学ともに記述式 で解答する問題の正答率が低く、 無解答率が高い傾向にある。
- ▲経年比較で見ると、国語に比べ、算数・数学の正答率が全国に比べ低い傾向がある。

#### 【児童生徒質問紙調査から】

- ▲学校の授業時間以外に、普段1日 当たり、1時間以上勉強する児童生 徒の割合が全国より低い。
- ▲小・中学校ともに授業以外に学習を しない実態がみられる。

#### 【児童生徒・学校質問紙調査から】

- ▲授業時間以外に、読書をする児童 生徒の割合が全国より低い。
- ▲授業時間以外に読書を全くしない 実態がみられる。

#### 【児童生徒質問紙調査から】

▲学校のきまり(規則)を「守っている し」 と思う」児童生徒の割合が全国より 低い。

- ◆「知識・技能」の確実な定着を目指し、個々の学習の状況を把握 し、少人数指導、習熟度別学習などにより、きめ細かな指導を 行う。
- ◆個々の学習状況に応じて、発展的な問題にも積極的に取り組ませる。
- ◆授業の中に、学習のめあてを示したり、まとめたりする学習を位置付けるなど、「見通す」「振り返る」学習活動を確実に行う。
- ◆授業の中に、対話や他者との協力で学びを深める「協働的な学 び」の取り組みを行う。
- ▶授業の中で、自分の考えを書く活動を設定するとともに、書いたことを交流したり、発表したりする場面を設定する。
- ◆授業や特別活動の中で、自分の考えを深めたり広げたりさせる ことを意図した話し合い活動を設定する。
- ◆授業の中で、目的や相手を意識した発表の機会を設定するとと もに、発表の仕方について指導する。
- ◆「話し方」、「聞き方」、「書き方」などの指導について、系統性の ある取組を学校全体で実施する。
- ◆授業では、教科の特性に応じて、タブレット端末を効果的に活用 し、児童生徒の学習方法の幅を広げる工夫を図る。
- ◆生活リズムチェックシートを活用するなど、1日の学習時間を継続して記録し、意識化を図る
- ◆学校では、家庭学習の出し方について、タブレット端末の効果 、 的な活用方法など、教職員で共通理解を図る。
- ◆長期休業中や放課後に、補充学習、家庭学習の習慣化について、具体例を挙げながら教えることで、主体的に家庭学習に取り組めるよう指導する。
- ◆低学年から本に触れる機会が多く設定されるよう読書指導に関わる全体計画(カリキュラム)を作成する。
- ◆朝読書など、全校一斉読書の時間を設定することにより、読書の機会を設ける。
- ◆学校図書館の活用の仕方についての指導の充実を図る。
- ◆道徳教育や特別活動(学校行事)、キャリア教育の充実をはかり、規範意識や自尊意識の向上を図るとともに、物事をやり抜く ことで達成感や満足感を味わわせる。
- ◆できた、わかった喜びを味わわせる指導の工夫を図る。

#### (2) 家庭での取組

【児童生徒質問紙調査から】

- ▲学校の授業時間以外に、普段1 日当たり、1時間以上勉強する 児童生徒の割合を高めていく必 要がある。
- ▲1日当たり、「全く勉強をしない」 と回答する割合を0にする必要 がある。
- ▲授業時間以外に1日当たり30分 以上読書をする児童生徒を増や す必要がある。
- ▲学校のきまり(規則)を守ってい ると思う児童生徒の割合を高め ていく必要がある。
- ▲「自分にはよいところがある」と 回答する児童生徒の割合を高め ていく必要がある。
- ▲「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する」と回答する児童 生徒の割合を高めていく必要がある。

- ①子どもの生活リズムを整えましょう
  - ○生活リズムチェックシートを活用し、子どもが自ら生活を記録す る習慣化を図りましょう。
  - 〇起床時刻、就寝時刻が不規則にならないようにしましょう。朝ご はんをしっかり食べてましょう。(早寝早起き朝ごはん)
- ②家庭でのルールや目安を決め、しっかり守るよう子どもと約束をしましょう。
  - ○家庭学習は、【小学校】学年×10分+10分、【中学校】学年× 1時間+10分を目標に取り組みましょう。
  - 〇テレビ、DVDの視聴時間、ゲームの時間を少なくしましょう。
  - ○家庭で読書をする時間を設けましょう。
  - 〇携帯電話(スマートフォン)、SNS、メール、インターネットなどは、家庭でのきまりを決めて使用しましょう。
- ③家の中に、勉強ができる環境を作りましょう。
  - ○新聞やニュースを見る、地図や地球儀を身近に準備するなど、社会に興味を持たせるような準備をしましょう。
- ④学校での出来事について話を聞く時間を作りましょう。
- ⑤励ましやほめることを大切にしましょう。
- ⑥子どもが何かに挑戦した時には、結果ではなく、行動したことやプロセスをほめてあげましょう。
- ⑥地域の行事へ参加させたり、図書館、社会教育施設を積極的に活用させたり、網走のよさにふれる時間をつくりましょう。

#### ≪ 全国より高い傾向を示した項目(抜粋) ≫

#### ■小 学 校■

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 友達と協力するのは楽しいと思う。
- 家では、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったりすることがある。
- ・学習の中で PC・タブレットなどを使うのは勉強の役に立つと思う。
- 友達との間で話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができる。

#### ■中 学 校■

- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う。
- 自分でやるときめたことは、やり遂げるようにしている。
- 家では、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・学習の中で PC・タブレットなどを使うのは勉強の役に立つと思う。
- ・学級では生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの 学習活動に取り組んでいる。

#### (3) 網走市教育委員会における学力向上の方策

この方策は、これまで網走市教育委員会が取り組んできたものをさらに推進・拡充させて いくものと、新たに取り組むものです。

#### 1 教職員の指導力を高めるために、教職員研修の充実を図ります

- (1) 北海道立教育研究所や網走地方教育研修センター等の受講促進、先進地視察研修、公開研究会への参加、オホーツク管内教育研究団体への加入の促進を図ります。
- (2) 市内すべての学校で公開研究会を実施するとともに、網走市学校教育研究実践事業により公開研究会の開催を支援します。
- (3) 教職員の授業力向上のため、北海道教育委員会の専門的教育職員による学校教育指導を複数回要請し、授業改善や研究協議の充実を図ります。
- (4) 「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校、連携校の取組を支援するとともに、 効果のある実践指定校の取組を普及させ、教職員の資質の向上を図ります
- (5) 「網走市学力向上フォーラム」の開催や、先進地への視察研修など、網走市学力向上 推進委員会の活動を支援するとともに、網走市教育委員会主催の研修会を開催し、教職 員の指導力向上を図ります。
- (6) 読書指導や家庭学習習慣の定着に成果を上げている学校の取組を網走市学力向上推進 委員会の中で共有し、各学校における具体的な取組の改善を図ります。

#### 2 子どもの学びを支える教育環境の整備を図ります

- (1) 学習内容をより分かりやすく伝えるためのICT機器(実物投影機、大型TV、タブレット端末、電子黒板等)を整備するとともに、ICT機器の活用に関わる研修会を開催します。
- (2) 学校図書館司書の配置や学校図書の整備など、読書環境の改善や、学校図書館機能の充実を図ります。
- (3) 海外からの英語指導助手 (ALT) を複数配置し、小学校段階からの英語教育、国際 理解教育の充実を図ります。

#### 3 子どもたちに自ら学ぶ意欲をはぐくみ、確かな学力の定着を図ります

- (1) 学習内容の定着を図るため、長期休業中や放課後の補充学習の充実、少人数指導や習熟度別学習、学習支援員の配置などによる、きめ細かな学習を推進します。
- (2) 子どもたち一人一人の理解を深めるため、学力状況を把握する標準学力検査や、学校での適応感を把握する検査の活用を促進します。
- (3) 学び方に関する「全校共通指導事項」の取組を推進し、学習規律の定着を図ります。
- (4) 家庭での学習習慣確立のために、学校・家庭・地域が連携し、家庭学習の習慣化やテレビ・ゲームの時間の見直しなど、「生活リズムチェックシート」の積極的な活用を図ります。
- (5) 小学校から中学校への円滑な接続、中1ギャップ未然防止のために、中学校校区を中心とした小中連携を推進します。
- (6) 東京農業大学との連携による、「長期休業中の学習サポート」「学習サポート事業(あばしり寺子屋)」を推進します。

#### 4 健やかな学びを支えるために、体力向上の取組を推進します

- (1) 心身ともに健康な子どもを育成するために、保護者、地域とともに、「早寝・早起き・朝ごはん」など望ましい生活習慣の定着、運動に慣れ親しむ機会を作るなど体力向上の 取組を推進します。
- (2) スポーツ合宿団体によるタグラグビー教室などのスポーツ教室を開催します。また、 教育長杯タグラグビー大会や、オホーツク網走マラソンなどの各種スポーツ大会への参 加促進を図ります。
- (3) 1時間の授業の中でできるだけ運動する時間を確保したり、互いに教え合う活動を取り入れたりするなど、楽しく達成感が味わえる体育の授業の充実を図ります。
- (4) 日本体育大学との連携による、「子ども体力づくりサポート」や「体育授業改善研修会」 を実施します。

#### 5 特別支援教育の充実を図ります

- (1) 特別支援教育支援員などの人的支援の充実や関係機関との連携を図ります。
- (2) 教職員や保護者の特別支援に対する理解を深めるため、研修会の実施、教育相談体制の充実を図ります。

#### 6 思いやりを大切にし、豊かな心や地域を愛する心を育みます

- (1) 道徳教育推進校における教育講演会の開催、地域・保護者への積極的な道徳の時間の 公開など、道徳教育の充実を図ります。
- (2) 「網走市子ども会議」を開催し、子どもが主体的に取り組むいじめ防止の取組を推進するなど、心の教育の充実を図ります。
- (3) 地域に対する愛着や関心を高めるために、地域を素材とした総合的な学習の時間、ふるさと教育、食育などの充実を図ります。
- (4) 「網走市読書感想文コンクール」の実施、家読(うちどく)や朝読書の充実、読み聞かせなどによる良書との出会い、市立図書館による「読書ノート」の積極的な活用により読書の充実を図ります。

#### 7 地域、保護者との連携を図り、地域とともにある学校づくりを推進します。

- (1) 学校と家庭、地域住民等が「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現 しいくのか」という目標やビジョン共有しながら、特色ある学校づくりを進めていくた めに、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を推進します。
- (2) 地域、保護者とともにある学校を目指し、「オープンスクール」の実施や「網走市学校 支援地域本部事業」によるボランティアの活用など、地域、保護者との連携を図ります。
- (3) 小中学生と地域の高校、大学との交流を推進し、子どもたちの新たな興味や関心を引き出す様々な体験学習等の充実を図ります。
- (4) 心身ともに健やかな子どもを育成するために、網走市PTA連合会と連携し、教育講演会、研修会を開催します。
- (5) ネットトラブルの未然防止を図るために、学習会を開催したり、使用のきまりを作成したりするなど、学校と保護者が連携した取組を推進します。